



薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校
学校便り No.22
令和5年12月15日
文責：校長 齋藤和彦

『献身的な教師の頑張りだけでは、質の高い教育の維持発展は困難な時代』です

『担任の先生には、学級の子ども達とたっぷりとかかわってほしい』と思っています。

先生と一緒に遊んだり、おしゃべりしたり、ふざけ合ったり、困りごとを相談したり..等々。

このような子ども達との近い関係性は、授業の中でも、子どものトラブル解決でも、保護者さんへの対処等においても、よい結果にたどり着く近道にもなるものです。

今、担任のこの時間の確保（心のゆとり）が揺らいでいます。〔※全国的な傾向です〕

例えば..担任の先生は、子ども達 30 人分の毎日の宿題の丸付け、連絡帳への返信をいつ、どのようにしていると思いますか？

- 朝の始業前に..提出順に猛スピードで！
 - 給食を5分程で食べ終え..時間を捻出！
 - 休み時間のトイレや一息をも我慢して。。
- ゆえに、教員の職業はブラック..などと。。

< 担任の一日（※平均的な業務） >

(7:30)	◆学級準備等々	★出勤時刻は 8:10
8:10~	学級朝の会	欠席確認電話等も
8:30~	1校時~2校時	授業準備は事前に
10:05~	業間(休み時間)	宿題確認・連絡帳等
10:30~	3校時~4校時	校時の間は5分
12:05~	給食	給食指導(配膳等)
13:10~	清掃	清掃指導(分担)
13:30~	5校時~6校時	5校時後は帰りの会
15:40~	特設部活動	各部活動指導
16:40~	◇残業に該当	★退勤時刻は 16:40

◇平均して 19:00頃まで、授業準備・教室環境整備
学級学年事務/打合せ・家庭連絡や保護者対処等
学習評価・教材研究・校内運営の仕事(分掌)等々



薫小の先生は誰もが、子ども達のためにという熱意と保護者期待に応えようと..上記のような勤務を続けています。

しかし、『献身的な教師の頑張りだけでは、質の高い教育の維持発展は困難な時代』です。

先生方には、もっともっとよりよいパフォーマンスができる環境を整えたい。

~心にゆとりをもって..楽しみながら、子ども達とたっぷりとかかわることができる学校環境を保障したいのです。薫の子のために。

次年度に向けて..改善を図ります 「薫の子のために」(教育効果必須！)

次年度の【薫の子を育てる教育課程】の青写真を描くにあたって、左記の“難”を軽減..改善できる方策をずっと考えてきました。

企画委員会で、再度の職員会議を経て、先日 PTA 役員会に説明した「改善点の一部」です。

<改善その1>

【評価の二期制】

○ これまで学期末ごとに3回評価していた評価[通知票]を前期・後期の2回とします。

学期は、これまで通り「三学期制」です。

前期評価[4月~9月] 後期評価[10月~3月]

- 長いスパンで適正な評価をします
(学期に迫られる評価を改善します)
- 各学期末の日々の授業を充実させます
- 各学期末にも行事等が計画できます
- 年間を通して、ゆとりある教育活動に！

◇ 長期休業に入る前に、学習/生活状況を教育相談等を通して保護者に伝達します。
(詳細は、【裏面の説明】をご覧ください)



<改善その2>

【集金事務の口座引き落とし化】

○ 年度始や毎月の諸集金を口座引き落としとします。(※郡山一中・三中与同様に)

- 児童/保護者/担任の金銭事故を回避します
- 担任の集金業務負担を軽減します

◇ 口座引落移行準備に係る事務作業が発生しますが、主査及び PTA 雇用職員の下承を得ています。(移行後の引落業務についても)

※ 今後、全家庭に東邦銀行：引落口座登録をお願いいたします。(詳細は後日依頼します)



<改善その3>

【5校時/6校時を適正に位置づける】

○ 余剰時数(授業時数の貯金)を適正にする。

<改善 ~その4・5・・・(小さなことも)~>

○ その他..整備/改善/見直しを図っています。

☆ そのめざすところは、
「薫の子のために」ただひとつ！です